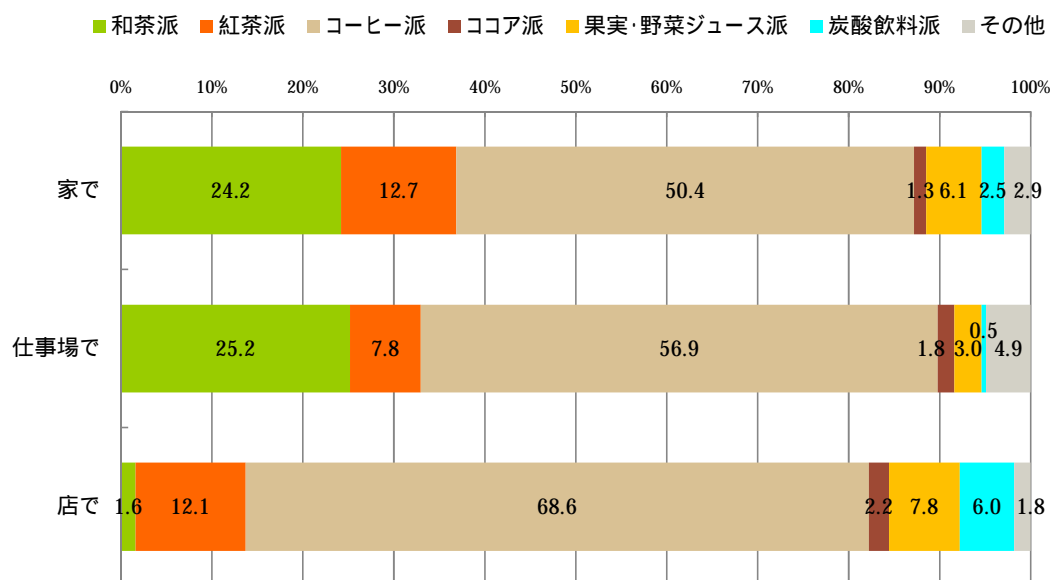


あなたのお茶スタイルは何派？



岡山県はパン屋や喫茶店が全国と比べても多く、岡山市の食パン購入費は全国 13 位、他のパン購入費は全国 3 位、珈琲豆やインスタントコーヒーの購入費は全国 5 位、缶コーヒーなど液体コーヒー飲料購入費は全国 22 位（総務省 H22 年度家計調査）などとなっており、和食とともに洋食も愛され、ちょっとこだわりのある食スタイルがうかがえます。今回は中でもお茶スタイルの実態について、普段好んでよく飲んでいる飲み物や、シーンによって飲み物は変わるのかなどを聞いてみました。

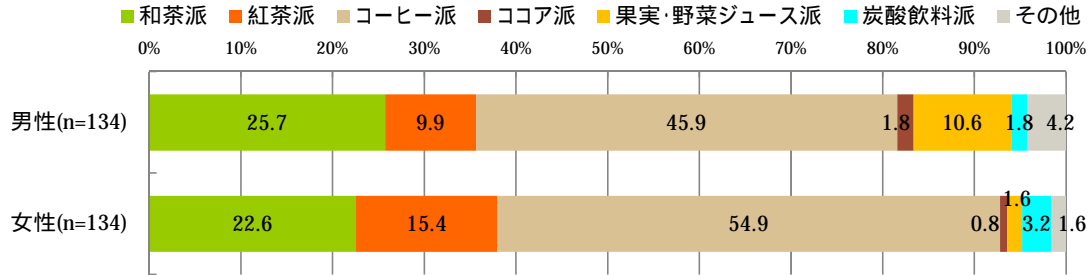
家では「コーヒー派」という人が 50.4%、「和茶派」が 24.2%、「紅茶派」が 12.7%という結果が出ました。職場では「コーヒー派」が 56.8%、「和茶派」が 25.2%で、それぞれ家よりもやや多くなっています。職場の場合、会社側が用意している飲料に因ってしまうこともあるでしょうが、75%の人は家でよく飲むものと職場でよく飲むものの回答が一致しており、同じスタイルを続けているようです。店では「コーヒー派」が大きく増加し 68.6%となりました。そして「果実・野菜ジュース派」が 7.8%と、家よりも増えており、フルーツ王国らしさも垣間見える結果が出ました。

他県のみなさんは何派ですか？

【調査概要】 調査時期：2011年12月22日(木)～12月28日(水) 調査対象：岡山県在住の男女 268名 社会人のみ
 調査方法：インターネット調査 PCユーザー50.0%、Mobileユーザー 男性50.0%、女性50.0% 20代24.6%、30代24.6%、40代24.6%、50代以上26.1% 岡山市37.3%、倉敷市23.9%、その他県内38.8%

家で、好んでよく飲んでいるものは何ですか？ 水、アルコールは除く。(単一回答)

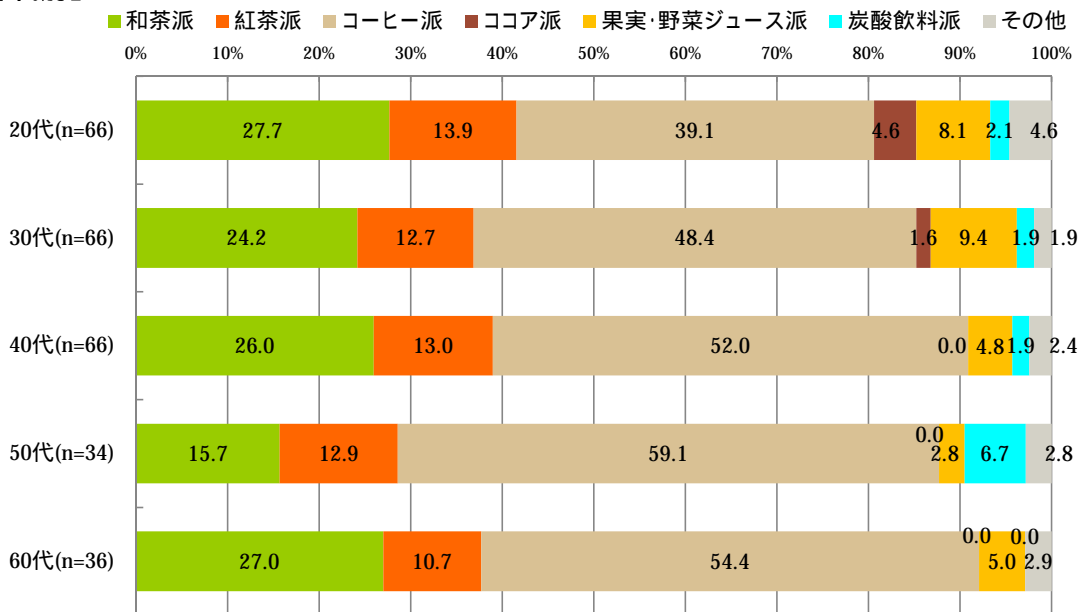
【男女別】



男女別で見ると、「コーヒー派」は女性のほうが10ポイント多いという結果です。そのほかに女性のほうが多いのは「紅茶派」「炭酸飲料派」があります。一方、男性が女性よりも多いのは「和茶派」「ココア派」「果実・野菜ジュース派」です。中でも「果実・野菜ジュース派」は圧倒的に多い。岡山の男性は女性よりもフルーツ好き・野菜好きなのではないでしょうか？健康志向とも考えられます。

一般的に男性のほうがコーヒーをよく飲むといわれていますが、家ではその限りではないようです。

【年代別】



年代別に見ると、どの年代も「コーヒー派」が最も多く、40代以上はそれぞれ5割を超えています。中高年のほうがコーヒー好きという結果となりました。20代は「和茶派」「紅茶派」「ココア派」「その他」が年代間で最も多く、スタイルが分散しています。また、20代30代の若い世代は「果実・野菜ジュース派」が多く見られ、中高年が健康のために果物や野菜を採っているというイメージは、岡山においては感じられません。

本件に関するお問い合わせ

協同組合 岡山情報文化研究所 / 原内
 〒700-0824 岡山市北区内山下1-3-1 電話 086-225-8181
 「岡山トレンドウォッチャー」(<http://www.vis-a-vis.co.jp/>)